

第 62 回  
関西社会学会大会  
プログラム

第 1 日 2011 年 5 月 28 日 (土)

第 2 日 2011 年 5 月 29 日 (日)

開催校  
甲南女子大学



## 第1日 5月28日(土)

◆理事会 11:30~12:30 (9号館942)

◆受付開始 13:30 (9号館2階)

◆研究報告I 14:00~16:30

【第1室】 理論・学説I (3号館33A) 司会：名部圭一(桃山学院大学)

1. 現代社会学における主客二元論批判の構図  
——ジンメル「主観・客観問題」に照らして—— 梅村麦生 神戸大学
2. 身体技法の「奥深さ」とは何か  
——コミットメント・無力感・相互身体性に着目して—— 倉島哲 関西学院大学
3. 社会学と文明学——小括序—— 福永英雄 京都造形芸術大学
4. 真理表と論理式を用いた連関の検定法 藤原英男

【第2室】 理論・学説II (3号館331) 司会：早川洋行(滋賀大学)

共同報告：現代社会(論)から古典理論を問い直す

- (1) 大衆社会論再考——現代日本の排除問題から—— 大久保元正 神戸大学
- (2) 健康概念の系譜と展開  
——パーソンズの古典理論としての意義と限界—— 田村周一 神戸大学
- (3) 現代の社会的コントロールの諸特徴と社会学の古典理論 池田太臣 甲南女子大学
- (4) よそ者概念のタイポロジーの系譜  
——類型化と理論的精緻化の試み—— 徳田 剛 聖カタリナ大学

【第3室】 階層(3号館33B) 司会：竹内洋(関西大学)

1. 政党支持研究における新しい視座  
——社会的な政治意識研究の可能性—— 伊藤理史 大阪大学
2. 若者のキャリア形成における社会関係の役割  
——女子大生の将来展望と重要な他者—— 土岐智賀子 立命館大学
3. 大学における教育制度の改革と入学者特性  
——金沢大学人文学類入学者データの分析—— 〇歸山亜紀 金沢大学  
轟 亮 金沢大学
4. 教育の垂直・水平的格差次元と地位達成  
——1990年以降の教育とキャリア軌跡—— 白川俊之 同志社大学

**[第4室] 家族・人口 I (3号館332) 司会：山根真理 (愛知教育大学)**

共同報告：東アジアの高学歴化と家族観の変容——EASS 2006 の分析から——

- |                             |      |         |
|-----------------------------|------|---------|
| (1) 世代間援助意識の変容にみる女性の高学歴化の影響 | 溝口佑爾 | 日本学術振興会 |
| (2) 日本・台湾・韓国女性の性別役割意識と高学歴化  | 竹内麻貴 | 立命館大学   |
| (3) 子育て方針の決定をめぐる夫婦関係と高学歴化   | 岡田丈祐 | 京都大学    |

**[第5室] 文化・知識・科学 I (3号館33C) 司会：岡崎宏樹 (京都学園大学)**

- |   |                 |                  |
|---|-----------------|------------------|
| 1. 芸術文化政策における正当性のゆらぎ<br>——あるオーケストラの存廃問題をめぐって——      | ○吹上裕樹<br>○平田誠一郎 | 関西学院大学<br>関西学院大学 |
| 2. 音楽のコミュニケーションをめぐる考察<br>——西洋音楽の発展と記譜法——            | 寺前典子            | 慶應義塾大学           |
| 3. 異文化を書く<br>——ソ連版の日本論の視点から——                       | サンドロヴィッチ・ティムール  | 京都大学             |
| 4. 日本における消費社会論の発展の方向性について<br>——内田、吉見、見田の消費社会論を中心に—— | 藤岡達磨            | 神戸大学             |

**[第6室] 社会心理・社会意識 (3号館335) 司会：小川伸彦 (奈良女子大学)**

- |  |       |        |
|--|-------|--------|
| 1. 中途障害者における社会的「死」の構造分析<br>——非障害受容論の視座から分析した中途障害者の類型—— | 堀川 優  | 佛教大学   |
| 2. いのちの電話相談員の感情労働について<br>——教員への質問紙調査結果との比較から——         | 平井正三郎 | 大阪市立大学 |
| 3. 現代的恋愛と感情的・心理的成熟さをめぐる<br>再帰的自己自覚的達成課題                | 桶川 泰  | 神戸大学   |
| 4. 欧米社会学における宗教理論と宗教調査<br>——その統合と国際比較の視座から——            | 真鍋一史  | 青山学院大学 |

**[第7室] 社会病理・社会問題 (3号館33E) 司会：佐藤哲彦 (関西学院大学)**

- |  |      |         |
|--|------|---------|
| 1. ディスアビリティを可視化する<br>——理念型としての障害見取り図を提示——    | 秋風千恵 | 大阪市立大学  |
| 2. 電通過労自殺事件をめぐる社会問題の構成                       | 田中慶子 | 立命館大学   |
| 3. 自殺と社会政策<br>——積極的労働市場政策・住宅補助・老齢年金の自殺予防効果—— | 柴田 悠 | 日本学術振興会 |
| 4. 台湾の多重債務問題と被害者の会<br>——国境を越える社会問題と社会運動——    | 大山小夜 | 金城学院大学  |

[第8室] 社会福祉・医療Ⅰ（3号館336） 司会：樫田美雄（徳島大学）

1. 「トラブル」の展開過程にみる"特別支援保育"の組織化 末次有加 大阪大学
2. 共同報告：自閉症スペクトラム障害の社会学
- (1) 自閉症と社会学——科学・医療化・コミュニケーション—— 竹内慶至 金沢大学
- (2) 大学生の自閉症認識と社会観 田邊 浩 金沢大学  
——『大学生の障害と病いに関する意識調査』より(1)——
- (3) 自閉症認識と教育ガバナンスの再編 松田洋介 金沢大学  
——『大学生の障害と病いに関する意識調査』より(2)——

[第9室] 社会史・歴史社会学（3号館33F） 司会：福間良明（立命館大学）

1. 宮崎市街における遊覧バスの車窓説明 長谷川司 関西学院大学  
——『遊覧説明 昭和七年一月』車掌テキストの考察——
2. 戦間期におけるワシントン体制と「世論」 中嶋晋平 大阪市立大学  
——海軍の『記念日講話』関係資料を事例に——
3. 日本のルイセンコ論争はスキャンダルだったのか？ 山本耕平 京都大学

◆総会 16：45～17：30（9号館912）

◆懇親会 18：00～20：00（第1学生会館3階）

## 第2日 5月29日(日)

◆受付開始 9:30 (9号館2階)

◆研究報告Ⅱ 10:00~12:30

[第1室] 理論・学説Ⅲ(3号館33A) 司会:油井清光(神戸大学)

1. 多文化主義をめぐる論争 安達智史 日本学術振興会  
——再帰性・アイデンティティ・文化——
2. ルーマン プログラム論の再構成と応用 碓井 崧 金沢大学  
——機能的分化社会の多様性への対処——
3. ルーマンの社会理論におけるメディア概念の位置と可能性 高橋 顕也 京都大学  
——「システムによる構成」から「システムの発生」をめぐる問題へ——
4. 社会システムの機能分析モデル群 新 睦人 奈良女子大学  
——いくつかのモデルに即して可能性と限界を考える——

[第2室] 家族・人口Ⅱ(3号館331) 司会:中里英樹(甲南大学)

1. 家族の居住形態と理念に関する一考察 平井太規 神戸大学  
——「核家族化」再考と「全体的相互給付」の検証——
2. 既婚女性の性別役割分業意識と就業 乾 順子 大阪大学
3. きょうだい構成と地位達成 藤原 翔 大阪大学  
——マルチレベルモデルによる出生順位効果の分析——
4. エイジズムの構造と規定要因に関する考察 関根 薫 皇學館大学  
——年齢階層別分析を中心に——

[第3室] 地域社会・家族(3号館33B) 司会:藤井勝(神戸大学)

1. 住み込み農業奉公人を再評価する 阿部友香 京都大学  
——山形県庄内地方を事例として——
2. 共同報告:家族・地域と公共意識
- (1) 公共マナー教育と家族 片岡佳美 島根大学  
——神戸市東灘区と隠岐の島町での調査結果から——
- (2) 現代家族と「地域の教育力」 春日井典子 甲南大学  
——「公共意識の育成」に関する地域比較——

**[第4室] 産業・労働（3号館332） 司会：藤本昌代（同志社大学）**

1. 韓国における中国朝鮮族の出稼ぎ生活世界  
——ひとりの女性のライフ・ヒストリーから—— 許 燕華 京都大学
2. 建設産業の下層労働の比較研究  
——求人ルートの違いに注目して—— 渡辺拓也 大阪市立大学
3. 環境管理型権力によるマネジメント  
——コールセンターを中心的対象として—— 高木裕宜 文京学院大学
4. 子育て世代のワーク・ファミリー・バランス  
——国際比較からみたスウェーデンの取組みと実践—— 高橋美恵子 大阪大学

**[第5室] 文化・知識・科学Ⅱ（3号館33C） 司会：高坂健次（関西学院大学）**

1. グローバリゼーション研究における文化概念  
——ジェイムズ・クリフォードにおける移動とローカリティ—— 藤田智博 大阪大学
2. 専門家に対する信頼  
——科学社会学とリスク社会論からの考察—— 加藤源太郎 プール学院大学
3. 日本社会学の専門分化と下位分野間ネットワーク 太郎丸博 京都大学

**[第6室] コミュニケーション・情報（3号館335） 司会：辻大介（大阪大学）**

1. ポピュラー文化における「モノ化」と集会的記憶  
——模型製作者の語りに注目して—— 松井広志 大阪市立大学
2. 「ネットカフェ」をめぐる言説の変遷とモノの変遷 1995-2010 平田知久 京都大学
3. 離島における地域 SNS の導入効果  
——障害が有効に機能するとき—— 吉光正絵 長崎県立大学

**[第7室] 社会福祉・医療Ⅱ（3号館33E） 司会：山田富秋（松山大学）**

1. 痙攣性発声障害を患う人びとが抱える二重の困難について  
——コミュニケーションの困難と存在論的困難—— 野島那津子 大阪大学
2. 日常からの逸脱を見分ける  
——認知症発症期に関する介護家族の回顧的語りから—— 木下 衆 日本学術振興会
3. 病気回復に対する認識のあり方——外来患者の場合—— 細川つや子 岡山大学

[第8室] エスニシティ（3号館336） 司会：松浦雄介（熊本大学）

1. 人種概念としての「名誉白人」とその社会的経験 山本めゆ 京都大学  
——アパルトヘイト期南アフリカのアジア系コミュニティに注目して——
2. 在日ベトナム系住民の生活における食の確保戦略 瀬戸・徐・映里奈 京都大学  
——兵庫県姫路市を事例として——
3. 「共生」をめぐるコンフリクト 芝野淳一 大阪大学
4. 長浜地域の日系ブラジル人における定住化傾向 長光太志 佛教大学  
——量的調査を用いた資源移転論の検討——

[第9室] ジェンダー（3号館33F） 司会：伊田久美子（大阪府立大学）

1. 草の根保守運動への動員要因 鈴木彩加 大阪大学  
——愛媛県におけるジェンダーフリー・バッシングの事例から——
2. 「授乳」という行為をめぐるリスクとジェンダー 村田泰子 関西学院大学
3. 男女共同参画社会実現に向けた行政の課題 〇玉井真理子 関西大学  
——2010年度豊中市調査結果から—— 〇藤田朋子 大阪府立大学  
〇白岩優姫 大阪大学
4. 台湾における少子化現象 周 典芳 慈済大学  
——政府のメディア施策を中心に——

事務局よりお願い

- ・会場および周辺では配布資料のコピーサービスはできませんので、報告者は50部程度ご用意ください。
- ・すべての教室でパワーポイント2010が用意されています。
- ・機器や接続には故障や不具合がある場合があります。万一に備え、機器なしでも滞りなく発表できるようにご準備ください。機器を利用する方は、部会の始まる20分前に報告教室にお集まりいただき、その教室で機器が正常に作動するかを確認してください。

◆シンポジウム 13:30~16:30

第1シンポジウム 社会学が捉える現代資本主義

——新しい『経済と社会』の可能性—— (9号館912)

司会：荻野昌弘 (関西学院大学)・蘭 信三 (上智大学)

- |      |                                     |       |        |
|------|-------------------------------------|-------|--------|
| 第1報告 | ポスト産業資本主義の論理<br>——新自由主義は何をもたらしたのか—— | 正村俊之  | 東北大学   |
| 第2報告 | 働くことと雇われることのあいだ<br>——賃労働社会からの展望——   | 宇城輝人  | 福井県立大学 |
| 第3報告 | 第三の消費文化と現代資本主義                      | 間々田孝夫 | 立教大学   |
|      | 討論者                                 | 吉田 純  | 京都大学   |
|      |                                     | 足立重和  | 愛知教育大学 |

第2シンポジウム 社会調査とデータ・アーカイブ (9号館911)

司会：轟 亮 (金沢大学)・桜井 厚 (立教大学)

- |      |  |      |        |
|------|--|------|--------|
| 第1報告 | 実証研究におけるデータ・アーカイブの役割と課題<br>——SSJデータアーカイブの活動実績を踏まえて—— | 佐藤博樹 | 東京大学   |
| 第2報告 | 社会調査教育とデータ・アーカイブ                                     | 川端 亮 | 大阪大学   |
| 第3報告 | 公開調査データの作成と寄託<br>——JGSS (日本版総合的社会調査) の経験——           | 岩井紀子 | 大阪商業大学 |
|      | 討論者  | 真鍋一史 | 青山学院大学 |
|      |  | 中野康人 | 関西学院大学 |

# 2011年度関西社会学会総会

日時 5月28日(土) 16:45～

会場 9号館 912 教室

## 総会次第

開会の辞  
会長挨拶  
議長発議

〈報告〉  
庶務報告  
研究活動委員会報告  
編集委員会報告  
その他

〈議事〉  
2010 年度決算について  
業務委託・会費値上げについて  
2011 年度予算について  
来年度開催校について  
その他

閉会の辞

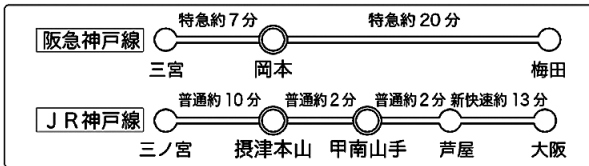
以上

## 参加費用

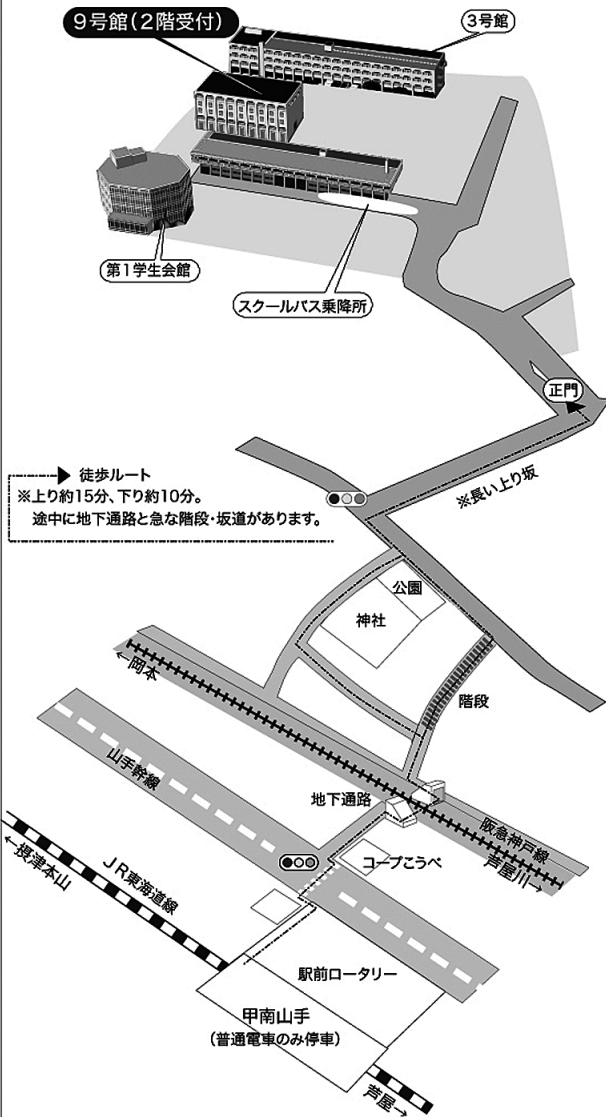
大会参加費	2,000 円
懇親会費	一般 5,000 円
	学生 3,000 円

本年度大会より受付での学会費の徴収を取りやめます。別に学会費納入のコーナーも設けません。本年度の学会費の納入依頼は9月初旬を予定しています。それ以前に納入の必要のある方は、郵便局備え付けの振替用紙で振り込みください。

### 最寄り駅（阪急岡本駅・JR 摂津本山駅）



### JR 甲南山手駅から徒歩ルート



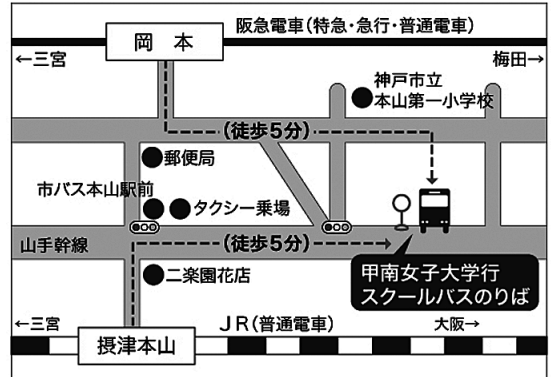
### 昼食について

第1日は大学構内・周辺では食事の提供がありません。  
第2日は、生協の食堂を営業します。  
(12時～14時 第1学生会館4階)

### タクシー利用

JR芦屋駅より約10分。  
JR摂津本山駅(北側改札を出て山手幹線沿い)より約5分。※  
阪急岡本駅(南へ徒歩3分、山手幹線沿い)より約5分。※  
※下の地図参照

### スクールバスのりば



### スクールバスダイヤ

第1日 (5月28日)			
時	本山発	時	大学発
8	45	8	
9		9	
10		10	
11	15	11	
12		12	
13	20 ← → 50	13	
14		14	
15		15	
16	30	16	45
17	総会終了後 ← → 55	17	総会終了後 ← → 45
18		18	
19		19	懇親会終了後 ←
20		20	→ 10

第2日 (5月29日)			
時	本山発	時	大学発
8	45	8	
9	20 ← → 50	9	
10		10	
11		11	
12		12	研究報告終了後 ← → 45
13	00 ← → 20	13	
14		14	
15		15	
16		16	シンポジウム終了後 ← → 40
17		17	
18		18	
19		19	
20		20	

← → の時間は満車になり次第発車します。

